



納涼床 ノンアルでゆるり

午後8時まで時短営業も

新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言を受け、京都の夏の風物詩「鴨川納涼床」が、酒類の提供を取りやめた上で、午後8時までの時短営業をしている。ただ、休業を決めた店や、同宣言解除後から営業予定の店もあり、対応はさまざま。

納涼床を設置している京都市下京区の飲食店「ルアン耐鶴^{きつね}京都鴨川リゾート」では、室内と同様に客席の間隔を広く取り、ノンアルコール飲料のメニューを追加した。同店の熊澤由美支配人は「納涼床を楽しみに毎年来てくれるお客様が大勢いるので、安心して楽しんでもらいたい」と話した。

(筋野健太)